

木造荼吉尼天騎狐像 1 軀

木造荼吉尼天騎狐像

もくぞうだきにてんきこぞう

分野／部門

有形民俗文化財

所有者

宗念寺(そうねんじ)

所在地

大阪市天王寺区下寺町 1-3-66

紹介



木造荼吉尼天騎狐像

天王寺区下寺町の、浄土宗の寺町寺院である宗念寺本堂に安置される神像で、像高 26.1 センチメートル、もとは境内の鎮守社の神体であった像である。宗念寺は、大坂城築城の際に営まれた寺町のひとつ、下寺町に寺地を構える。寺町の寺院は浄土宗の寺院が大半だが、寺町寺院となる以前の前史があったと思われる寺院も多く、浄土信仰の拠点としてだけでなく、密教や神祇などのさまざまな信仰の要素が集約されていたとみられる。本像の制作年代は、江戸時代 中期から後期、18 世紀後半から 19 世紀と考えられ、寺町寺院の鎮守社の信仰を物語る貴重な文化財である。